

# 横浜市感染症発生動向調査報告(令和7年12月)

委員会開催日(2025年12月25日)時点のデータになります。

## 《今月のトピックス》

- インフルエンザは4週連続で減少していますが、流行警報は発令中です。
- 感染性胃腸炎が増加傾向です。
- 梅毒は幅広い年齢層で患者の報告が続いています。

◇ 全数把握の対象 <2025年11月24日～12月21日に報告された全数把握疾患>

腸管出血性大腸菌感染症	10件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3件
E型肝炎	1件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	3件
つつが虫病	1件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
レジオネラ症	7件	侵襲性肺炎球菌感染症	7件
アメーバ赤痢	1件	梅毒	21件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1件	百日咳	40件
クロイツフェルト・ヤコブ病	2件		

1. **腸管出血性大腸菌感染症**:10 歳代～70 歳代で、O 血清群は O157 が 4 件、O26 が 1 件、O103 が 1 件、O126 が 1 件、O 不明が 3 件です。経口感染と推定される報告が 3 件、感染経路等不明の報告が 7 件です。
2. **E 型肝炎**:50 歳代で、感染経路は経口感染と推定されます。
3. **つつが虫病**:40 歳代で、感染経路は動物・蚊・昆虫等からの感染と推定されます。
4. **レジオネラ症**:50 歳代～90 歳代で、肺炎型が 6 件、ポンティアック熱型が1件です。感染経路等は水系感染と推定される報告が 5 件、水系感染・塵埃感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が 1 件です。
5. **アメーバ赤痢**:60 歳代で、感染経路等は経口感染と推定されます。
6. **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:70 歳代で、感染経路等はその他と推定されています。
7. **クロイツフェルト・ヤコブ病**:いずれも 70 歳代で、病型は古典型 CJD です。
8. **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:40 歳代～80 歳代で、血清型は A 群が2件、G 群が1件です。創傷感染と推定される報告が 1 件、感染経路等不明の報告が 2 件です。
9. **後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む)**:いずれも 30 歳代で、感染経路は性的接触(異性間 1 件、同性間 1 件、詳細不明 1 件)と推定されています。
10. **侵襲性インフルエンザ菌感染症**:60 歳代で(ワクチン接種歴不明)、感染経路等は不明です。
11. **侵襲性肺炎球菌感染症**:30 歳代～80 歳代(ワクチン接種歴無 4 件、不明 3 件)で、感染経路等は飛沫・飛沫核感染と推定される報告が 2 件、感染経路等不明の報告が 5 件です。
12. **梅毒**:10 歳代～80 歳代で、早期顕症梅毒 I 期 6 件、早期顕症梅毒 II 期 7 件、無症状病原体保有者が 8 件です。性的接触による感染と推定される報告が 20 件(異性間 16 件、同性間 1 件、詳細不明 3 件)、感染経路等不明の報告が 1 件です。
13. **百日咳**:10 歳未満～80 歳代(ワクチン接種歴 4 回 14 件、2 回 1 件、無 4 件、不明 21 件)で、家族内感染と推定される報告が 8 件、周囲の流行と推定される報告が 4 件、感染経路等不明の報告が 28 件です。

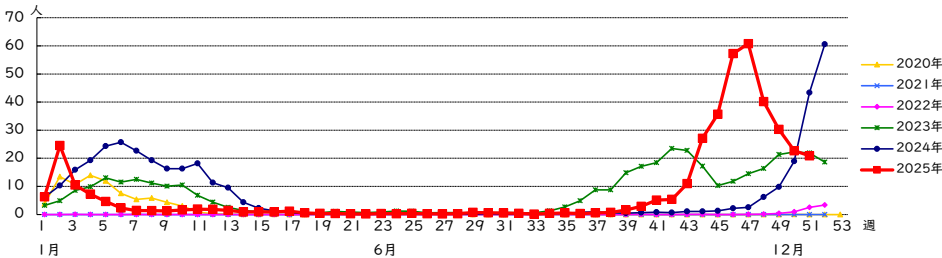
# ◇ 定点把握の対象

※ 2025 年第 14 週(3 月 31 日～4 月 6 日)以降、小児科定点は 94→51、内科定点は 59→39 医療機関に変更されました。

報告週対応表	
2025年第48週	11月24日～11月30日
第49週	12月 1日～12月 7日
第50週	12月 8日～12月14日
第51週	12月15日～12月21日

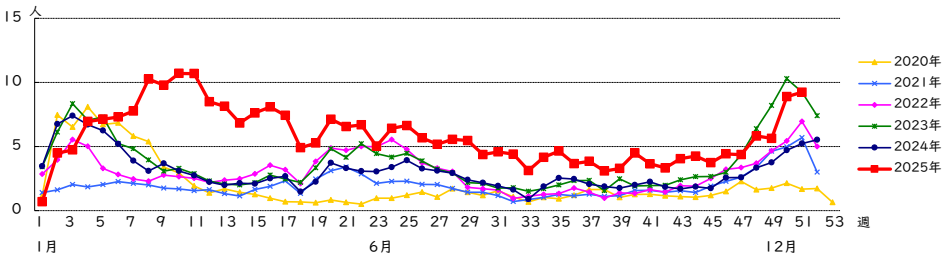
## 1 インフルエンザ

第37 週(9 月 8 日～9 月 14 日)以降増加が続き、第 43 週(10 月 20 日～10 月 26 日、定点あたり 10.95)に流行注意報発令基準(10.00)を、第 45 週に 35.63 で、流行警報発令基準(30.00)を超えました。その後増加が続き、第 47 週には 60.78 となり、報告数が昨シーズンのピークを超えました。以降減少傾向が続き、第 51 週は 20.89 です。



## 2 感染性胃腸炎

第 46 週以降増加傾向が続き、第 51 週は 9.22 です。



## 3 性感染症(2025 年 11 月)

性器クラミジア感染症	男性:30件	女性:11件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:16件	女性: 9件
尖圭コンジローマ	男性:21件	女性: 3件	淋菌感染症	男性: 7件	女性: 3件

## 4 基幹定点週報

	第48週	第49週	第50週	第51週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.25	0.00	0.25
マイコプラズマ肺炎	0.00	1.25	0.25	1.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

## 5 基幹定点月報(2025年11月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	19件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科・ARI(急性呼吸器感染症) 定点:5か所、ARI定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院) 定点:4か所の計14か所を設定しています。

検体採取は、小児科・ARI定点とARI定点で毎週実施しています。

眼科と基幹(病院) 定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

2025 年第 48 週～第 51 週に病原体定点から搬入された検体は、ARI(急性呼吸器感染症) 定点 104 件、基幹定点 1 件、定点外医療機関1件でした。

1月5日現在、表に示した各種ウイルスの分離 24 株と遺伝子 64 件が同定されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2025 年第 48 週～第 51 週)

主な臨床症状等 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	発 熱
新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	－		
	3		
インフルエンザウイルス AH3	20	3	1
	11	3	2
インフルエンザウイルス A ( 亜型未同定 )	－	－	
	14	3	
ライノウイルス	－	－	
	6	3	
ライノウイルスまたはエンテロウイルス	－		－
	9		1
パラインフルエンザウイルス 1型	－		
	1		
パラインフルエンザウイルス 2型	－		
	1		
ヒトメタニューモウイルス	－		
	1		
アデノウイルス 2型	－		
	1		
アデノウイルス 5型	－		
	1		
アデノウイルス 型未同定	－	－	
	3	1	
合 計	20	3	1
	51	10	3

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

〈細菌検査〉

2025 年第 48 週～第 51 週の「菌株同定」について保健所からの検査依頼は、腸管出血性大腸菌感染症 9 件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 件、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 2 件、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 件、薬剤耐性エロモナスの精査 2 件でした。

基幹定点からの検査依頼はサルモネラ症 2 件でした。

「分離同定」の検査依頼は保健所からレジオネラ症 3 件でした。

病原体定点医療機関からの検査依頼は「小児科定点」から溶血性レンサ球菌咽頭炎 6 件、感染性胃腸炎 1 件、「ARI 定点」から 3 件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2025 年第 48 週～第 51 週)

菌株同定		項目	検体数	血清型等	
保健所	腸管出血性大腸菌感染症		9	O157:H7 VT1 VT2	(2)
				O157:H7 VT2	(1)
				O26:H11 VT1	(1)
				O26:H11 VT2	(1)
				O126:H- VT1	(1)
				O166:Hg15 VT2	(1)
				OUT VT1	(1)
				OUT VT2	(1)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		2	A群溶血性レンサ球菌 TUT	(1)
				G群溶血性レンサ球菌	(1)
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症		2	Aeromonas sp.	(1)	
			Klebsiella pneumoniae	(1)	
侵襲性インフルエンザ菌感染症		1	Haemophilus influenzae	(1)	
薬剤耐性エロモナス 精査		2	Aeromonas sp.	(2)	
基幹定点	サルモネラ症	2	Salmonella Schwarzengrund	(1)	
			Salmonella O4群 (4:i:-)	(1)	

分離同定		項目	検体数	材料	同定、血清型
保健所		レジオネラ症	3	喀痰	Legionella pneumophila SG1 (1) レジオネラ属菌 培養陰性 (2)

小児科サーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等	
小児科定点	咽頭ぬぐい液	溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	A群溶血性レンサ球菌 T1	(1)
				A群溶血性レンサ球菌 T4	(2)
				A群溶血性レンサ球菌 TB3264	(1)
				A群溶血性レンサ球菌 T型別不能	(2)
	便	感染性胃腸炎	1	Campylobacter coli	(1)

ARIサーベイランス	材料	診断名	検体数	同定、血清型等	
ARI定点	咽頭ぬぐい液	ARI	3	百日咳菌遺伝子 肺炎マイコプラズマ遺伝子 溶血性レンサ球菌 培養 百日咳菌培養	陰性 陰性 陰性 陰性 (3)

【 微生物検査研究課 細菌担当 】